

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

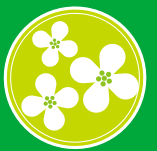
2014
平成26年

1.15

夢を追う球児たちへ
期待を込めた一球!

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより「夢大使からの贈りもの」 簡単レシピ&今月の渥美半島の花	
地域の話題	4
市民活動を応援するページ	
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 簡単レシピ&今月の渥美半島の花……………3ページ
- 地域の話(伊良湖校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ



広報サポーターだより

夢大使からの贈りもの

皆さん、こんにちは。広報サポーターの浪崎季代美です。田原市ふるさと大使(渥美半島夢大使)で、プロ野球東京ヤクルトスワローズ所属の小川泰弘選手(赤羽根町出身)が、昨年の12月に帰郷し、地元で開催された「少年野球教室」に参加しました。今回は、その様子についてご紹介します。

● 地元野球少年と出会った小川泰弘選手 (写真中央)



● 送球動作を丁寧に指導



● 一人一人に声をかけます



● 真剣な表情で話を聞く子どもたち



広報サポーター
浪崎季代美
(高松校区)

◆ 田原市広報サポーターの部屋

- 田原市ホームページ
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>
- ブログアドレス
<http://kohotahara.dosugoi.net/>
- ツイッターアドレス
<http://twitter.com/#!/KohoTahara>

田原市ふるさと大使で、プロ野球東京ヤクルトスワローズ所属の小川泰弘選手が、12月7日(土)に開催された「少年野球教室」に参加し、地元野球少年約200名と触れ合いました。

会場となった赤羽根文化広場は小川選手が少年時代に日々の練習で汗を流したグラウンド。小川選手がグラウンドに姿を現すと、出迎えた子どもたちや見学者から大歓声と拍手がわき起こりました。

この日は、シーズン中にバッテリーを組んだ中村悠平選手も参加。2人はキャッチボールから始まった子どもたちの全体練習を見ながら一人一人に声をかけ、積極的に動き回っていました。

全体練習を終えると、バッテリー組と野手組に分かれ、ボールの握り方や肘の使い方、捕球や送球の仕方などを指導。子どもたちはみんな真剣な表情で聞き入っていました。

教室の後半には、小川選手が自らマウンドに上がり、子どもたちが打席に立つというサプライズ登板も実現し、子どもたちにとって忘れることのできない最高の一日となりました。

最後に小川選手から、「1年間頑張れたのも、みんなが応援してくれたから。みんなの野球に対する情熱とその元気が力になるので来シーズンも頑張る。そしてまたみんなに会いに来ます」と力強い言葉が贈られました。

地元農産物を活用した

簡単レシピ

平成24年度に実施した「地元農産物を活用した加工品・料理コンテスト」で入選した簡単レシピを紹介します。今回は「ミカン」を使ったレシピをお届けします。

まるごとミカンのスパゲッティ

材料:2人分

- イタリアンドレッシング
- ミカン(1個)
- オリーブオイル(大さじ3)
- パスタ(200g)
- 酢(大さじ2)、しょうゆ(小さじ1)
- ベーコン(45g)
- みりん(小さじ1)、塩コショウ(適量)
- しめじ(60g)
- おろしニンニク(少々)
- キャベツ(200g)
- ニンニク(1かけ)
- パセリ(適量)
- オリーブオイル(少々)
- 塩(適量)

作り方

【下準備】

- ① ミカンを洗い、アルミホイルで包み、オーブントースターで約7分焼く。
- ② 鍋に湯を沸かし、塩、オリーブオイルを入れ、パスタをゆでる。

【イタリアンドレッシングの作り方】

オリーブオイル、酢、しょうゆ、みりん、塩コショウ、おろしニンニクを入れて混ぜ、焼いたミカンの皮と薄皮を取り除き、果肉を切って入れる。取り除いたミカンの内側の

白いわたをスプーンですくって取り除き細かく切る。

【パスタの作り方】

- ① フライパンを中火で熱し、オリーブオイルとスライスしたニンニクを入れる。短冊切りしたベーコンを炒め、しめじと短冊切りしたキャベツを加えて炒める。
- ② パスタのゆで汁を適量入れて少し煮詰め、お湯から上げたパスタをからめながら炒める。イタリアンドレッシングを適量加え、味付けする。
- ③ 皿に盛り付け、ミカンの皮、パセリを細かく切って載せる。

料理の部 奨励賞



2月

今月の渥美半島の花～ベゴニア～

ベゴニア (鉢花 / 出荷時期: 9月～7月)

【花言葉】…親切、片思い、丁寧

世界の熱帯から亜熱帯に分布し、2000種以上の原種が知られています。さまざまな環境に適応して分布することから、非常に変化に富んでいます。共通する特徴は左右非対称の葉を持つことと、雌雄異花であることです。大変多くの種類があるため、植物学上さまざまな分類がされていますが、園芸上は8種に分類されています。

田原市で主に生産されているのは「リーガースベゴニア」というベゴニアです。花色は赤、ピンク、黄色、オレンジ、白などがあり、花形も一重咲きや八重咲きなどがあり、華やかな雰囲気のため贈答品にも喜ばれています。名前のリーガースベゴニア(Rieger begonia)は、1950年にドイツの「オットー・リーガー(Otto Rieger)」氏が育成した品種が普及したことに由来しています。

田原市では、年間約5万3千鉢が生産されています。





▲他校区の市民館まつりで募金とPR活動(和地市民館にて)



▲糟谷磯丸の歌碑が並ぶ「いのりの磯道」(伊良湖町)

地域の話題

伊良湖校区

かすやいぞまる
(糟谷磯丸翁生誕250年記念事業実行委員会)

郷土の偉人でまちづくり

貴重な歴史・文化を次の世代に継承しようとする奮闘している
伊良湖校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



伊良湖の浜に誕生した漁夫歌人、**糟谷磯丸翁**は、平成26年に生誕250年を迎えます。

天真爛漫、純粹無垢、至誠一貫の翁として親しまれ、没後には神として崇められてきた磯丸翁の業績や姿を末永く後世に伝えるために、地域と糟谷磯丸顕彰会が連携して「糟谷磯丸翁生誕250年記念事業実行委員会」を設置し、記念事業を実施することとなりました。

募金額1000万円を目標に募金活動中

実行委員会では、各種事業を実施するため、募金活動をしています。活動を周知するため、チラシを作成し、各校区の協力を得て、全戸配



布しました。配布にあたっては、実行委員会、地域ごとに枚数を数え、各市民館へ配りました。

他校区の市民館まつりなどがあれば、募金箱を持って会場などへお邪魔して、募金活動やPRを行っています。

自然環境と地域資源を活かした笑顔いっぱい 快適な活力ある校区へ

募金活動も記念事業も、皆の協力がなければ、できません。

この活動をきっかけに、さまざまな地域活動も皆で協力できると感じています。そして、改めて自分たちの地域を見つめ直し、知り、学び、地域の資源としての知恵と技により、アイデアをつなぎ合わせていきたいと思っています。

糟谷磯丸翁生誕 250 年記念事業

- ①冊子「漁夫歌人糟谷磯丸」の田原市内全戸配布
- ②磯丸像の彫刻（銅像又は石像）設置
- ③磯丸歌の作曲
- ④小学生向き小冊子の刊行
- ⑤糟谷磯丸展
- ⑥各種キャンペーンなど



「天地のなしたるまま」の磯丸翁の人柄や足跡を、多くの皆さんにご理解いただき、ご支援・ご協力をお願いします。

※「糟谷磯丸」渥美半島の先端伊良湖村に明和元（1764）年5月3日に生まれ、嘉永元（1848）年5月3日に85歳の生涯を終えた漁夫歌人。生涯に数万首の歌を詠んだといわれ、中でも「まじない歌」は、家内安全・無病息災・商売繁盛といった民衆のあらゆる希望や困りごとに応え歌にしている。





市民活動を応援するページ



市民活動紹介

マミーズ はらぺこ Mommys

～より豊かな英語の世界を子どもたちと～

「英語を使って子どもたちと何か楽しいことはできないかな」という思いをもったママたちが集まりました。

皆さんは、日本でもよく知られている絵本『はらぺこあおむし』（エリック・カール著）をご存じですか。この絵本に登場するはらぺこあおむしのように「子どもたちが、ときには食べ過ぎて失敗することがあっても、少しずつちゃんと成長しますように」「わたしたちがその支えとなれますように」という願いを込めて「はらぺこ Mommys」という名前で市民活動を始めました。

まずは、英語の絵本の読み聞かせや親子一緒に英語の歌に挑戦。英語の絵本や歌には、海外独特の絵やお話、楽しいリズムがあります。『はらぺこあおむし』や『メリーさんの羊』など、皆さんもよく知っているもの、何十年も前から愛され続けているものなど、たくさんあります。それらを題材として、子どもたちやパパやママが夢と希望を大きく持って英語を楽しんでもらえるように、私たちも一緒に楽しく活動していきたいと思えます。

「今から英語なんて無理だけど、子どもに英語が話せるようになってほしい」「昔は嫌いだったけど、子どもと一緒にやってみようかな」と英語に興味をもたれるパパやママのお手伝いができたらうれしいです。



お問い合わせ

✉ harapekomommys@gmail.com 🌐 <http://harapekomommys.dosugoi.net/>

委員
募集

田原のまちづくりについて一緒に考えよう！

「市民協働まちづくり会議委員」を公募します。

協働によるまちづくりを進めるため、市民・市民活動団体・事業者・市の機関がそれぞれの役割を認識し、お互いに協議する場として「市民協働まちづくり会議」を設置しています。

市民協働について考え、一緒にまちづくりに取り組む皆さんを募集します。

- 応募資格
 - ・市内に在住・在勤・在学の方
 - ・市内でボランティア活動に参加している方
- 募集人員 3名以内(任期は4月～平成28年3月31日までの2年間)
- 募集期間 2月3日(日)～3月14日(金)
- 応募方法 市民協働課で配布する応募用紙に必要事項を記入して直接・FAX・Eメールにて。応募用紙は市ホームページからもダウンロード可(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)
- 選考方法 市の選考により決定
- その他 年2回程程度の会議／報酬なし



▶ 市民協働課 ☎ 23局 3504 ☎ 23局 0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

🏠 <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 月・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

□ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ： ☎ 22局 1111 (内線812) ※開設時間のみ FAX 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 64

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「ペア歯みがき」と、中学校の「文化祭」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

衣笠小学校『ペア歯みがき』でっこりぴかぴか 一人一人が主役となる活動

衣笠小学校では、高学年が低学年に歯みがきの仕方を教える『ペア歯みがき』を行っています。ペアになる学年は、1・6年、2・4年、3・5年です。内容は「歯ブラシの持ち方と動かし方」「学年別の歯みがきポイントの理解」「歯垢の染めだし」「一緒に歯みがき」の4つで、担任と養護教諭の指導のもと、1時間の学習として行っています。

子どもたちからは「歯のみがき方を教えてくれてありがとう。教えてくれたことを忘れないよ」「教える人になり、うまくできるか不安でしたが2年の子が真剣にやってくれたのでうれしかった」「忘れていた歯みがきの基本を思い出すことができよかった。これからも意識しながらしっかりみがきたい」といった声が聞かれました。

子どもたちの感想から、教わる側も教える側も意識が高まり、歯みがき技術の向上に手応えを感じます。ペア活動は、一人一人の子どもが主役となり、主体的に活動できる場として、また、楽しさや思いやりの気持ちを育む活動としてこれからも大切にしていきたいです。



●みがき残しがないかペアになって確認



●鉛筆持ちでみがきます



●体験講座で七宝焼きの作り方を教わる生徒たち



●PTAのお店が大盛況

野田中学校「文化祭」 学年を超えた交流の場

11月9日(土)、文化祭を開催しました。有志の舞台発表を皮切りに、体験講座、学習成果の展示や発表、合唱コンクールと、一日盛りだくさんの内容で実施しました。

体験講座では、ボランティアで駆けつけてくれた講師の先生の指導のもと、真剣にものづくりに励む姿や、実験などに取り組む姿が見られました。今年の有志発表のテーマは『SMILE・PROJECT～仲間と協力！ステージへGO！～』。テーマのとおり、舞台発表では学年や男女の枠を越えて結成されたチームも多数自主参加し、ダンスや劇を披露しました。昨年度より学校をあげて取り組んでいる「異学年交流」が、よい意味で実を結び始めていることがうかがえる一コマです。また、PTA役員さんの力強いご協力があり、バザーや模擬店も大盛況でした。生徒達も、お父さんお母さんのつくってお昼ご飯に大満足。地域の方も大勢訪れ、学年を越えた交流、地域の方との交流が、会場のあちこちで見られる心温まる文化祭になりました。



▲「タニタの社員食堂健康セミナー」と題し、講演を行う(株)タニタ管理栄養士



▲小型搾油機を使って菜種の搾油に挑戦する参加者たち



▲観光大使に任命されたキャベゾウ(写真左)、かいくん(写真右)

12月14日(土)
はかつて改善
生活習慣

健康都市連合加盟記念講演会が田原文化会館で開催されました。これは昨年、WHO（世界保健機関）が提唱する健康都市連合に加盟したことを記念して行われたものです。当日は約300名の参加があり、生活習慣を改善するコツについて学びました。

12月15日(日)
楽しく学ぶ
食とエネルギー

田原菜の花エコプロジェクト体験**菜種の搾油体験とエコキャンドルづくり**が田原文化会館で開催され、親子など30名が参加しました。参加者は、初めて使う搾油機に戸惑いながらも、資源循環について楽しみながら学んでいました。

12月24日(火)
ご当地キャラを
観光大使に任命

市内で活躍するご当地キャラクター「キャベゾウ」と「かいくん」が、市長から**渥美半島**☆**観光大使**に任命されました。今後は、市内外のさまざまなイベントに参加し、渥美半島の観光の魅力をPRしていきます。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

● 渥美半島菜の花浪漫街道



渥美半島菜の花浪漫街道は、国土交通省が展開する日本風景街道

の一つで、道を舞台に地域活性化や観光振興などを目指す事業です。今回は、その活動の一つである「菜の花の作付け」に取り組んでいる方々からお便りが届きました。

◆ 特定非営利活動法人

田原菜の花エコネットワーク



市内の沿道にある遊休農地で菜の花の作付けを行いました。荒れた畑では、種まき前の草刈りや石拾いが欠かせません。沿道の菜の花は現在、見ごろを迎えています。

◆ トヨタ自動車(株) 田原工場

全長800m、総面積約1万㎡にわたって菜の花の作付けを行いました。



を設け、市民の皆さんに楽しんでいただける場所を目指しています。

今回ご紹介したほかに、多くの市民や事業者の皆さんが菜の花の作付けや清掃活動など菜の花浪漫街道の活動に参加しています。また、家の花壇に花を植えたり、近所を清掃したりすることも活動の一貫です。

市では皆さんの活動を支援しています。詳しくは、エコエネ推進課へお問い合わせいただくほか、市ホームページからチラシなどをダウンロードすることもできます。

● たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2519人・事業所91カ所(12月末現在)

▼ エコエネ推進課

〒23局7401 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー

環境けいじばん 19

ゴミゴモンとリサイクルレンジャー

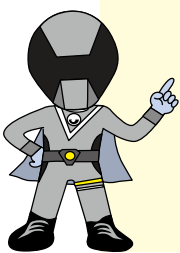
先日環境省が行った「平成25年度3R促進ポスターコンクール」にて、清田小学校の児童の作品が佳作に選ばれました。

◆ 入賞作品

小学校中学年の部 佳作
清田小学校4年生 秋元美空さん



小学校中学年の部には、全国から2725点の応募があり、その中から最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点が選ばれました。
入賞作品は、今後3R推進活動の広報用ポスターやパンフレットなどに掲載される予定です。



◆ 3Rとは?

英語の Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル) の頭文字を取った言葉で、ごみ減量のキーワードです。

3Rの取り組みは特別なものではありません。できることから始め、少しずつ活動を広げていきましょう。

具体的な取り組み	
Reduce (ごみを減らす)	・ 過剰包装を断る ・ マイバッグを持参し、買い物袋をもらわない
Reuse (再利用する)	・ 壊れたものは修理して使う ・ フリーマーケットやリサイクルショップを活用する
Recycle (再資源化する)	・ 資源になるごみは分別して出す ・ エコマークのある商品を購入する ・ 生ごみをコンポストで堆肥化する

▼ 清掃管理課

〒23局3538 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

『日中漫画展in愛知』を開催します。

平成25年3月に愛知県が「日中漫画展」を友好都市である中華人民共和国江蘇省において開催しました。これは、日中国交正常化40周年を記念し、江蘇省と日本の漫画家が地球の未来の姿をユーモラスに描いた漫画作品の展覧会です。その時に展示した作品をより多くの方に鑑賞してもらうため、江蘇省内にある昆山市と友好都市提携をしている田原市で、「日中漫画展in愛知」を開催します。「アンパンマン」のやなせたかしさんや「あしたのジョー」のちばてつやさんなどの作品も展示されます。入場は無料ですので、皆様、ぜひお立ち寄りください。



- 期間:2月12日(水)～16日(日)
- 時間:午前9時～5時
- 会場:田原文化会館 多目的ホール
- ▶お問い合わせ
愛知県地域振興部国際課
☎052-954-6181
田原市役所広報秘書課 ☎22-0138

【田原市の友好都市・昆山市の概要】

中華人民共和国江蘇省。上海から北西約50kmのところに位置します。平成5年に旧赤羽根町と昆山市が友好都市提携を結び、平成17年に再調印を行いました。

1 月17日は何の日か知っていますか。今回は、「防災に関する日」についてご紹介します。

◆防災の日（9月1日）
大正12年9月1日に発生した関東大震災を教訓に、災害への備えを怠らないようにという戒めをこめて、昭和35年に制定されました。この日を中心に、8月30日～9月5日を「防災週間」とし、全国各地で防災訓練や防災に関するイベントが実施されています。

◆津波防災の日（11月5日）
津波による被害から国民の生命、身体および財産を保護することを目的とする「津波対策の推進に関する法律」により、平成23年に制定されました。1854年の安政南海地震により、和歌山県広川町を津波が襲った際に、稲に火を付けて暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて救った「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。（現在

の暦と旧暦では月日が異なります。）

◆防災とボランティアの日（1月17日）
平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を教訓に、同年12月に制定されました。阪神・淡路大震災ではボランティア活動が活発化したため、「日本のボランティア元年」と言われています。これをきっかけにボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で制定され、この日を中心に、1月15日～21日が「防災とボランティア週間」と定められています。

●「防災とボランティアの日」をきっかけに、家庭や地域で防災やボランティアについて、今一度考えてみましょう。

▼防災対策課 ☎23局3548
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>



みんなできり組む防災・減災

けんちゃん

防災知恵袋

「防災に関する日」

33

おしらせ				
		INFORMATION		

MEMBER OF COMMITTEE

委員

人権擁護委員

新しい人権擁護委員に、小久保啓子さん（堀切町）が法務大臣から委嘱されました。

任期は平成26年1月1日から平成28年12月31日までの3年間です。

▼地域福祉課

☎ 23局3512 FAX 23局3545



WANTED

募集

田原福祉専門学校
平成25年度公開セミナー 参加者

▼日時 2月2日（日）午後2時～3時30分
▼場所 田原福祉専門学校講堂
▼内容 介護に活かせる最新の褥瘡に関する知識について

▼講師 宮一朗氏（名古屋大学皮膚科非常勤講師・渥美病院非常勤医師）
▼定員 80名（先着順）
▼参加料 無料
▼申し込み 電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・参加人数を明記）

▼田原福祉専門学校
☎ 22局3939 FAX 22局7340
✉ senmon@city.tahara.aichi.jp

防衛大学校学生（一般後期）

▼応募資格 平成26年4月1日現在、18歳以上21歳未満の方
▼試験日 第1次試験 平成26年3月1日（土）
第2次試験 3月13日（木）
▼募集人員 人文・社会科学専攻 約10名
理工学専攻 約30名

し込み 1月22日（水）～31日（金）
※詳しくはお問い合わせください。

▼自衛隊豊橋地域事務所
〒441-8016 豊橋市新栄町南小向41

☎ (0532) 33局2693

✉ aichi.pco.toyohashi@rct.gssdf.mod.go.jp

設楽ダム連続公開講座参加者

第9回とよがわ流域県民セミナー「カワセミ」の参加者を募集します。

▼日時 2月15日（土）午後1時～

4時30分

▼場所 愛知県奥三河総合センター

▼内容 設楽ダム

サイトの技術と安全性について

▼その他 内容および申込方法は愛知県地域振興部土地水資源課ホームページをご覧ください。

▼愛知県地域振興部土地水資源課
☎ (052) 954局6122

HP <http://www.pref.aichi.jp/tochinizu/>



パブリックコメント 意見募集!

パブリックコメント手続制度に基づき、以下の案件について意見を募集します。

●田原市地域公共交通戦略計画改訂(案)について

募集期間 ▶ 1月29日水～2月28日金

市民の生活に欠かせない公共交通機関の確保・維持・改善をするため、田原市における公共交通のあり方を策定した「田原市地域公共交通戦略計画」を改訂します。

担当課 ▶ 市民協働課 ☎ 23局3504 FAX 23局0180

✉ kotsubohan@city.tahara.aichi.jp

●豊橋田原ごみ処理広域化計画(案)について

募集期間 ▶ 2月4日火～3月5日水

環境保全やリサイクルの推進、コスト縮減などの側面から、豊橋市と田原市において、ごみ処理を共同で行うための基本的な方向性を示した「豊橋田原ごみ処理広域化計画」を策定します。

担当課 ▶ 清掃管理課 ☎ 23局3538 FAX 23局0180

✉ seiso@city.tahara.aichi.jp

☑意見提出方法

①公表場所へ持参 ②郵便 ③FAX ④Eメール

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、意見を提出してください。（個々の意見には直接回答いたしません。）

☑計画案の公表場所

各案件の担当課、赤羽根市民センター、渥美支所地域課、市役所情報広場、中央図書館、市ホームページ

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

愛知県消費生活モニター

消費者行政に関する意見・要望などをお寄せいただく消費生活モニターを募集します。

モニターの主な仕事

- ・日常生活の中で危険と思われる商品・不当な表示・悪質商法・生活必需品の価格動向などの観察・通報
- ・アンケートへの回答(年1回程度)
- ・生活必需品などの需給・価格調査
- ・消費者行政に関する意見・要望の提出

・地域・周囲などへの消費生活に関する情報の提供

- ・研修会(年1回の予定)への出席
- ▼対象⇨県内在住の満20歳以上の方(公職者を除く) ▼任期⇨4月の依頼日〜平成27年3月31日 ▼謝礼⇨年額3500円以内(予定) ▼申し込み⇨2月19日(水)までに商工観光課または東三河県民生活プラザにある申込用紙(県ホームページからもダウンロード可)に必要な事項を記入し提出

▼東三河県民生活プラザ

☎(0532)52局7337

🌐 <http://www.pref.aichi.jp/ke/min/shohiseikatsu/bout/monitor.html/>

▼商工観光課

☎23局3522 FAX 22局3817

生活

絵本を通して親子で食育「もぐもぐおはなし会」

「もぐもぐおはなし会」では、いろいろなものを「食べる」大切さについて読み聞かせを行います。お子さんと一緒に楽しく食育を感じてみませんか。

- ▼対象⇨乳幼児とその保護者 ▼日時⇨2月6日(木)午前10時30分〜11時 ▼場所⇨中央図書館おはなしのへや ▼内容⇨「はらぺこあおむし」の大型絵本とパペットを使ったおはなし ▼申し込み⇨不要/直接会場にお越しください。

▼農政課

☎23局3517 FAX 22局3817

国有地を一般競争入札で売却します

東海財務局では、相続税の物納により国有となった土地や、国として使用しなくなった庁舎跡地などを売却しています。

売却地

- ①【所在】小塩津町寺道1番1ほか4筆【地目】宅地(現況/雑種地)【面積】1267.71㎡

- ②【所在】福江町浜田1番7ほか1筆【地目】宅地(現況/宅地)【面積】228.13㎡

▼入札受付期間⇨1月27日(月)〜2月3日(月) ※最低売却価格など、詳しくはお問い合わせください。

▼東海財務局第四統括部門
☎(052)951局1710

🌐 <http://tokainof.go.jp/>

「相続110番」司法書士による無料電話相談

相続、遺言、成年後見などに関するご相談に、司法書士が電話でお答えします。



▼日時⇨2月1日(土)午前10時〜午後3時

☎相統110番(無料電話相談)

☎22局6107(当日限り)

▼愛知県司法書士会豊橋支部
☎(0532)58局9951

❖華山会 新春美術展・学童書道展を開催します。

❖第19回華山会新春美術展

渡辺華山の偉業を後世に伝え、地域の芸術文化の振興を図ることを目的に、新春美術展を開催します。

▶日時=2月5日(日)〜11日(土) 祝 午前9時〜午後4時30分(10日(日)は休館/5日(日)は午前10時〜/11日(土) 祝 は〜午後3時)

▶内容=絵画・書・古美術品などを展示

❖第2回華山会学童書道展

渡辺華山先生の遺徳を顕彰するため、市内の習字教室に通う学童から募集した作品による学童書道展を開催します。

▶日時=2月15日(日)〜23日(日)午前9時〜午後5時(17日(日)は休館) ▶表彰式=2月16日(日)午前11時〜

❖共通事項

▶場所=華山会館 ▶観覧料=無料 ▶後援=田原市教育委員会・田原市文化協会

▶(公財)華山会 ☎22局1700



歴史探訪

クラブ! 其の154

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

田原の馬

今年の干支は「午^{うま}」。かつて馬は、牛とともに、農耕、荷物の運搬、移動に使われていました。今でいえば、自動車、トラック、トラクターなどと同じように、普段の生活から生産活動まで幅広く活躍していました。昭和30年代くらいまでは、市内の農家の門長屋でも牛が飼われ、家畜との関わりを知る光景が見られましたが、馬を見た記憶はありません。かつて、伊川津貝塚から見つかった馬の骨から、日本では縄文時代の

馬の存在が推定されてきましたが、現在では、馬は古墳時代に伝わり飼育が盛んになったとされています。伝わった当時、馬は軍事（騎馬）、権威の象徴のためのものでした。馬の存在がわかる市内で最も古い資料は、田原町の神明社古墳から見つかった馬の轡^{くわ}や飾り道具（6世紀後半）です。衣笠小学校の敷地にある市内最大級の栄巖古墳^{えいがん}では、鉄製の馬形^{うまがた}が見つかっており、馬は軍勢力、権力を見せつけるため特別な物だったことを証明します。骨は、サンテパルクたはら（野田町）にある山崎遺跡から木製の鐙^{あぶみ}や鞍^{くら}とともに見つかっています。伊川津貝塚や吉胡貝塚でも鎌倉時代くらいの地層から、田原城でも戦国時代の井戸周辺から、馬の頭蓋骨^{ずがいこつ}が見つかっています。古墳時代以降も、市内には確実に馬がいたことがわかります。



▲【上】伊川津貝塚で見つかった馬の骨
【下】栄巖古墳で見つかった鉄製馬形

江戸時代になってからは、馬は主に荷役や移動、農耕用に使われています。騎馬として使う馬の飼育は大変難しく、特別な技術が必要なため多額の費用が必要でした。田原藩でも、姫島では軍事用の馬の飼育をしていたことが記録されていますが、優秀な馬が飼育できず継続を断念しました。『渥美町史』によると江戸時代から明治の初めまでの統計で、3割ほどの家で牛馬を飼育し、うち馬が6割程度を占めていたとされます。馬の比率が高いのは、馬の飼育が盛んだった東日本に近い状況です。また、馬から牛へ比重が変わったのは『田原町史』によると

明治25年ごろだといえます。馬は古代より、祈りの場に捧げられる

場合が多く、例えば古代では井戸周辺や水辺で多く見つかり、飢饉^{ききん}や干ばつが治まるようにと、願いを込めて供犠^{ともぎ}されました。山崎遺跡や田原城で見つかった馬はそのような願いのために捧げられたのでしょう。今日でも、馬形や絵馬などに代えられ、神社に奉納されています。馬は、生活を支えるだけでなく、人々の願いをかなえる力を持っているとされる、かけがえのない動物でした。現在では、馬は動物園や乗馬場などでしか見ることはできません。家畜として身近だったものから、日々の生活に縁遠い存在となっています。（増山）

今月の「表紙」

▼昨年活躍したプロ野球選手の小川泰弘選手（赤羽根町出身）が帰郷し、地域貢献のため野球教室に参加。子ども達の夢を叶えた小川選手のように、プロ野球選手を夢見ている子どもたちの目は、とても輝いていました。田原市の将来を担う子どもたちには、野球に限らず、さまざまな分野において活躍してくれることを期待したいですね。（I）

【表紙の写真】野球教室（赤羽根文化広場）